

早期景気観測調査

【4-5月期 調査結果概要報告書】

平成29年6月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成29年5月15日(月)～31日(水)
4. 調査対象： 当所会員141事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 101件
7. 有効回答率： 71.6%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【4－5月期の動き】

**業況は小幅な悪化で一進一退。
向こう3カ月の先行きは、小幅な改善の見通し。**

4－5月期の全業種総合の業況DIは、▲23.8（前期比▲2.6ポイント）となり、小幅な悪化に転じた。売上DIは5期ぶりに悪化。採算DIも悪化に転じ、仕入単価DIは3期連続の悪化となった。従業員DIは小幅な改善。金融貸出しDIも改善に転じている。向こう3カ月の先行き業況は、小幅な改善の見通し。

業種別では、卸売業・サービス業で業況改善、製造業・建設業・小売業で業況悪化となった。

製造業の業況DIは▲26.9（前期比▲18.9ポイント）と悪化に転じた。売上DI、採算DIともに悪化に転じ、とりわけ売上DIは22.9ポイントの大幅なマイナスとなっている。仕入単価DIについても小幅な悪化となり、従業員DI、金融貸出しDIはともに改善している。

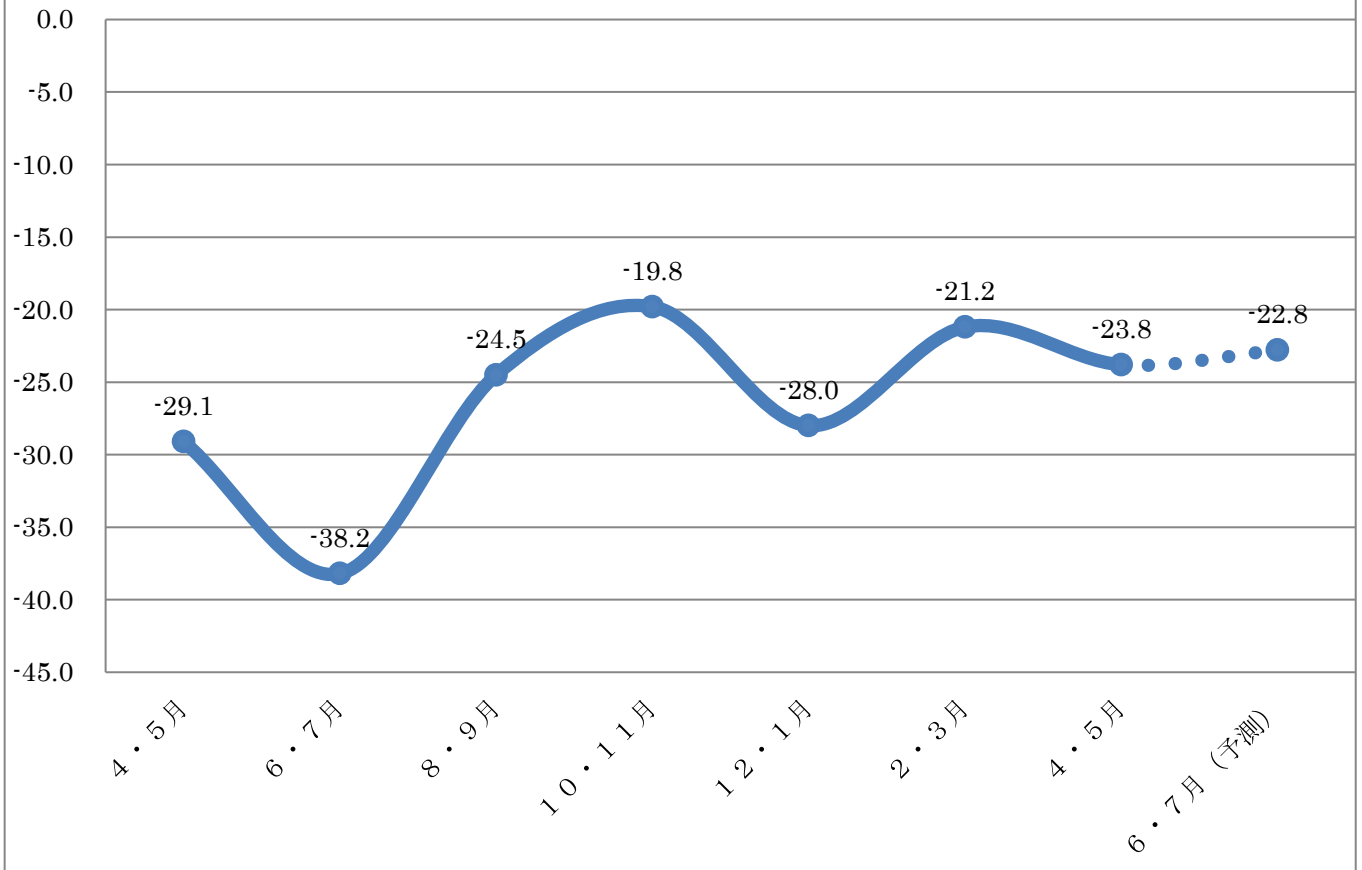
建設業の業況DIは▲35.3（前期比▲3.7ポイント）と3期連続のマイナスとなった。売上DIが4期ぶりの悪化。採算DIも悪化に転じ、それぞれ24.1ポイント、32.5ポイントと大幅なマイナスとなっている。一方で、仕入単価DI、従業員DI、金融貸出しDIはいずれも改善に転じている。

卸売業の業況DIは▲11.8（前期比+21.5ポイント）と2期連続で大幅な改善となった。売上DI、採算DIがともに2期連続で改善。とりわけ、採算DIは26.8ポイントの大幅な改善となっている。しかし、仕入単価DI、従業員DIは悪化に転じた。金融貸出しDIについては改善に転じている。

小売業の業況DIは▲38.5（前期比▲7.7ポイント）と2期連続の悪化となった。売上DIは2期連続の悪化で、23.0ポイントの大幅なマイナス。採算DIも悪化に転じている。仕入単価DI、従業員DIについては横ばい。金融貸出しDIは改善に転じている。

サービス業の業況DIは6.7（前期比+6.7ポイント）と3期連続の改善となり、平成28年2・3月期以来のプラス水準となった。売上DI、採算DIともに3期連続の改善となっている。一方で、仕入単価DI、従業員DIについては悪化しており、仕入単価DIは22.5ポイントの大幅なマイナスとなっている。金融貸出しDIについては、小幅な改善となった。

業況D I の推移








◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について



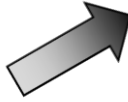
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

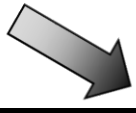
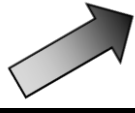
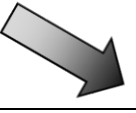
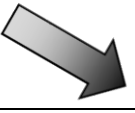
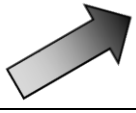
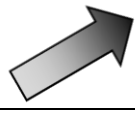
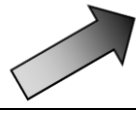
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 2 3 . 8	▲ 2 2 . 8	▲ 2 5 . 7	▲ 2 6 . 7	▲ 3 2 . 7	1 3 . 9	5 . 0

4－5月期の全業種総合の業況D I は、▲ 2 3 . 8 (前期比▲ 2 . 6ポイント) となり、小幅な悪化に転じた。

項目別では、売上D I (▲ 1 4 . 4 → ▲ 2 5 . 7) は5期ぶりに悪化。採算D I (▲ 2 3 . 1 → ▲ 2 6 . 7) も悪化に転じ、仕入単価D I (▲ 2 9 . 8 → ▲ 3 2 . 7) は3期連続の悪化となった。従業員D I (1 3 . 5 → 1 3 . 9) は小幅な改善。金融貸出しD I (▲ 1 . 0 → 5 . 0) も改善に転じている。
向こう3カ月の先行き業況は、▲ 2 2 . 8と改善の見通し。

◆ 業種別

製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲26.9	3.8	▲26.9	▲15.4	▲15.4	3.8	3.8

業況D Iは▲26.9（前期比▲18.9ポイント）と悪化に転じた。

項目別では売上D I（▲4.0→▲26.9）、採算D I（▲12.0→▲14.5）ともに悪化に転じ、とりわけ売上D Iは22.9ポイントの大幅なマイナスとなっている。仕入単価D I（▲16.0→▲15.4）についても小幅な悪化となった。従業員D I（▲4.0→3.8）、金融貸出しD I（▲4.0→3.8）はともに改善している。

向こう3カ月の業況は、3.8と大幅に改善する見通し。

建設業








業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲35.3	▲29.4	▲29.4	▲58.8	▲29.4	23.5	5.9

業況D Iは▲35.3（前期比▲3.7ポイント）と3期連続のマイナスとなった。

項目別では、売上D I（▲5.3→▲29.4）が4期ぶりの悪化。採算D I（▲26.3→▲58.8）も悪化に転じ、それぞれ24.1ポイント、32.5ポイントと大幅なマイナスとなっている。一方で、仕入単価D I（▲42.1→▲29.4）、従業員D I（10.5→23.5）、金融貸出しD I（0.0→5.9）はいずれも改善に転じている。

向こう3カ月の業況は▲29.4と改善する見込み。

卸売業





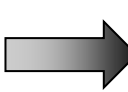
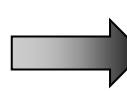

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲11.8	▲17.6	5.9	▲17.6	▲52.9	41.2	17.6

業況D Iは▲11.8（前期比+21.5ポイント）と2期連続で大幅な改善となった。

項目別では、売上D I（▲5.6→5.9）、採算D I（▲44.4→▲17.6）がともに2期連続で改善。とりわけ、採算D Iは26.8ポイントの大幅な改善となっている。しかし、仕入単価D I（▲38.9→▲52.9）、従業員D I（50.0→41.2）は悪化に転じた。金融貸出しD I（5.6→17.6）については改善に転じている。

向こう3カ月の業況は、▲17.6と悪化する見通し。

小売業



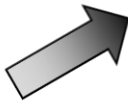
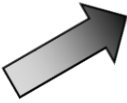



業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲38.5	▲46.2	▲61.5	▲34.6	▲23.1	11.5	3.8

業況D Iは▲38.5（前期比▲7.7ポイント）と2期連続の悪化となった。

項目別では、売上D I（▲38.5→▲61.5）は2期連続の悪化で、23.0ポイントの大幅なマイナス。採算D I（▲23.1→▲34.6）も悪化に転じている。仕入単価D I（▲23.1）、従業員D I（11.5）については横ばい。金融貸出しD I（0.0→3.8）は改善に転じている。

向こう3カ月の業況は、▲46.2と悪化する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
6. 7	▲26. 7	6. 7	▲6. 7	▲60. 0	▲6. 7	▲6. 7




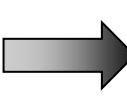


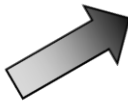
業況DIは6. 7（前期比+6. 7ポイント）と3期連続の改善となり、平成28年2・3月期以来のプラス水準となった。

項目別では、売上DI（▲12. 5→6. 7）、採算DI（▲12. 5→▲6. 7）ともに3期連続の改善となっている。一方で、仕入単価DI（▲37. 5→▲60. 0）、従業員DI（6. 3→▲6. 7）については悪化しており、仕入単価DIは22. 5ポイントの大幅なマイナスとなっている。金融貸出しDI（▲6. 3→▲6. 7）については、小幅な改善となった。

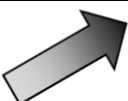




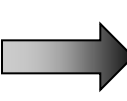
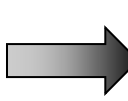
向こう3カ月の業況は、▲26. 7と大幅に悪化する見通し。

◆ 業種別詳細

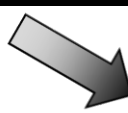
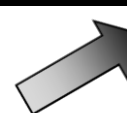
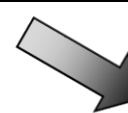
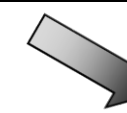
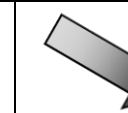
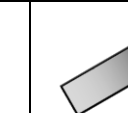
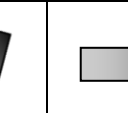
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


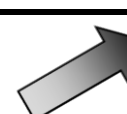
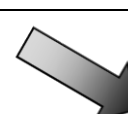
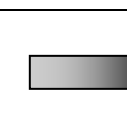
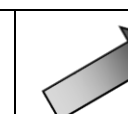
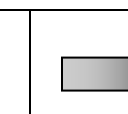
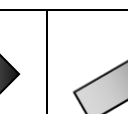
製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

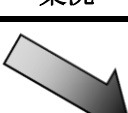

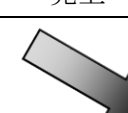
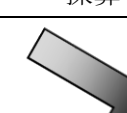
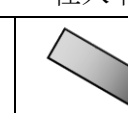
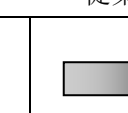
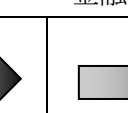
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

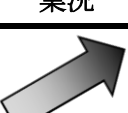
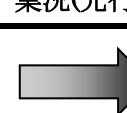
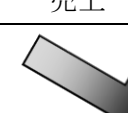

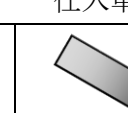

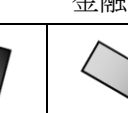
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

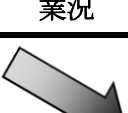

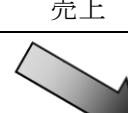
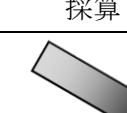
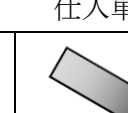


製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

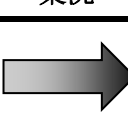
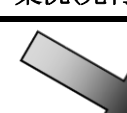
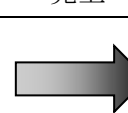
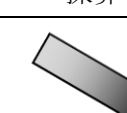
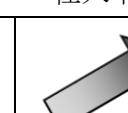
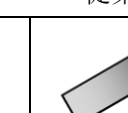

建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

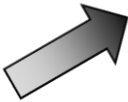


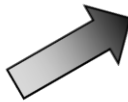



建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

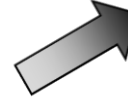

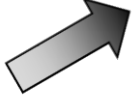
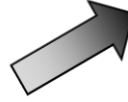


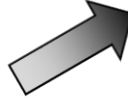
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						




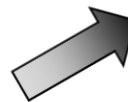



卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

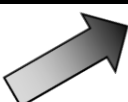






卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



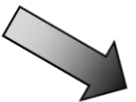




小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						





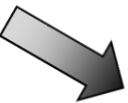


小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						




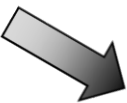



小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						





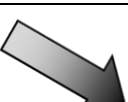


小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



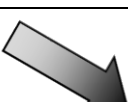
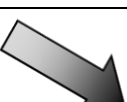
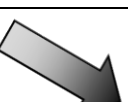


サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・プライダル、外食関係の大口顧客メニューから今年度外れた為、業況は悪化。プラス要因としては、昨年春以降に価格高騰したエゾアワビが、原産地別工場へのシフトで仕入価格ダウン。
- ・精麦業界が昨年4月より好調。現在も継続している。各社商品開発を進めているが、川下戦略のみならず川上戦略まで進めるなど競争優位を模索し、その結果が出始める頃、向こう1～2年で勢力圏が大きく変わるかもしれない。
- ・昨年よりも、特定銘柄酒の売上が順調に伸びており、わずかですが来期への期待があります。しかし、売店での上は厳しく、今後もこの状態で推移していくと思われます。

製造業（工業製品）

- ・我々製造業下請け企業は、大手が増産のため、仕事に追われ多忙。特に人材不足、工業系の人材づくりを行政は力を入れろと申し上げておきたい。
- ・水晶業界としては、全体的に生産は微減。特に携帯電話用は春先の立ち上がりが鈍く、中でも産業用水晶発振器（TCXO）の受注が激減しています。当社においては、新機種スマホ向けに夏場頃から受注増が見込まれております。

製造業（宝飾）

- ・個人消費は依然低迷状態が続いていて、市場環境はやや厳しい状況が続いています。

【建設業】

建設業（建築）

- ・競争激しく、全くといいほど採算が合う現場がない。物件が県内大手に集中している。2極化がさらに進んでいる。
- ・大手企業の下請け業者は忙しいが、個人企業は良くない。

建設業（土木）

- ・新規・中途・事務系・技術系問わず 入職者が来なくなっている。就業年齢の高齢化は必至である。恐らく定年を70歳にする日も遠からず来るだろう。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・漁獲量の減少、及び円安などを含め、ここ一年魚価は高値のまま推移しており、また、魚離れもあり売上維持が厳しい状況。
- ・水産業界で、山梨県はマグロの取扱いが日本で1・2番ですが、そのマグロの取扱量が本年度の規定をオーバーしてしまい。単価も大幅に値上がりしているという厳しい状況です。

【小売業】

小売業（趣味・日用品）

- これ以上下がらないという落ち着き方。ゴールデンウィークは普段より一段と人出が少なく、まさに空洞の街だった。
- 商店街の通行量も来店客数も減少。4月5月が特に厳しかったです。

小売業（家電）

- 甲府市周辺に耳鼻科の新規開業が4～6月に2件あり、今後の相談者の増加が見込まれます。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- 昨年はなかった欧米インバウンドの受注あり。
- 2、3、4、5月と長期滞在のお客様の利用があり、安定しておりましたが、6、7、8月は土曜日の予約は入っておりますが、その他の予約が今のところ少ないので好転する見通しは立ちません。

サービス業（観光）

- ゴールデンウィーク中は個人客が例年より増えました。平日は例年より観光客が少ないようです。

サービス業（飲食その他）

- “暑くなると栄養のある物を”と需要は増してくると思いますが、仕入値は昨年より上がっています。

以上